

令和5年度練馬区災害医療運営連絡会 第2回専門部会 会議概要

- 1 日時 令和6年1月31日（水）午後7時00分～8時00分
- 2 形式 Web会議
- 3 出席 杉山委員、柳川委員、黒田委員、小田委員、江原委員、野村委員、光定委員、高橋委員、
屋澤委員（地域医療課長）、山本委員（防災計画課長）、内田委員（医療環境整備課長）、
佐藤委員（大泉保健相談所長）
欠席：猪俣委員、伊藤委員
- 4 公開の可否 非公開（Web会議のため）
- 5 次第
 - 1 開会
 - 2 会議録について
令和5年度練馬区災害医療運営連絡会 第1回専門部会 会議概要
 - 3 議題
 - (1) 災害薬事コーディネーターおよび災害薬事センターの設置について（案）
 - (2) 令和6年度練馬区災害医療運営連絡会の検討事項について（案）
 - 4 報告
 - (1) 令和5年度訓練実施結果について
 - 5 その他
 - 6 令和5年度練馬区災害医療運営連絡会日程
令和6年3月下旬 午後3時～午後4時30分（予定）
- 6 資料
 - 資料1 令和5年度練馬区災害医療運営連絡会 第1回専門部会 会議概要
 - 資料2 災害薬事コーディネーターおよび災害薬事センターの設置について（案）
 - 資料3 令和6年度練馬区災害医療運営連絡会の検討事項について（案）
 - 資料4 令和5年度訓練実施結果について
- 9 事務局 練馬区地域医療担当部地域医療課管理係
電話 03-5984-4673（直通）

会議の概要

1 開会

(部会長)

ただいまから令和5年度練馬区災害医療運営連絡会第2回専門部会を開催する。

2 会議録について

(部会長)

資料1の会議要録については事前に送付しているため、説明は割愛する。修正等意見はあるか。

【意見なし】

3 議題

(1) 災害薬事コーディネーターおよび災害薬事センターの設置について (案)

【資料2について事務局から説明】

(部会長)

災害薬事コーディネーターおよび災害薬事センターの設置については、前回の専門部会でも提案させていただいた。今回の案は、次年度からの成案化に向けて、改めてこれまでの議論等踏まえて整理したものとなる。何か質問や意見はあるか。

(委員)

薬事コーディネーターの調整範囲に病院は含まれるのか。

(事務局)

薬事コーディネーターは、主に医療救護所の医薬品や薬事関係者の調整について、助言するものである。一方で、広義での役割として区内全域の薬事に関する調整を担うものとされている。実際の活動範囲については、今後調整していく。

(委員)

薬事コーディネーターの参集場所について、資料では練馬区役所(災害対策健康部)となっているが、薬事センターに参集ということで良いのか。

(事務局)

薬事コーディネーターには、災害対策健康部となる東庁舎6階の地域医療課に参集していただく。医療コーディネーターを含め、参集状況の把握と初期の情報共有が必要なため、参集場所は災害対策健康部としている。その後、東庁舎2階に設置する薬事センターに移動することを想定している。

(委員)

薬事コーディネーターの具体的な運用など、今後も関係各所と調整を図りながら詳細を詰めていく必要がある。引き続き協力をお願いしたい。

(委員)

薬事コーディネーターの人数について、案では3名となっているが、能登半島地震等を踏まえると、より人数が多くても良いのでないか。

(委員)

必要性は理解しているが、まずは3名で開始したいと考えている。薬剤師会では、これまでも災害薬事に関する研修会を主催するなど、積極的に人材育成に努めている。

(2) 令和6年度練馬区災害医療運営連絡会の検討事項について(案)

【資料3について事務局から説明】

(部会長)

何か質問や意見はあるか。

(委員)

課題整理ということだが、備蓄医薬品(一般用医薬品)の使い方などの具体的な提案をしてよいのか。

(事務局)

お見込みのとおり。改善点等を各委員の視点から提案いただきたいと考えている。

(委員)

具体的な話となるが、能登半島地震の報道等で、避難所生活で口腔衛生が話題となっていたが、口腔ケア用品の備蓄について検討していただきたい。

(副部会長)

令和6年度予算において、口腔ケア用品の備蓄を検討している。

(事務局)

事務局から来年度の取組みについて、追加提案をさせていただく。練馬区の災害医療体制に関する講習会(オンライン形式)の開催を提案する。各医療機関等で新しく担当になった方などを対象に、基礎知識となる練馬区の災害医療体制を改めて知っていただく機会としたい。

4 報告

令和5年度 訓練実施結果について

【資料4について事務局から説明】

(委員)

谷原中学校訓練の登録看護師の参加人数が3名となっているが、登録者が減っているのか。

(事務局)

谷原中学校には十数名の登録看護師がいる。訓練への参加が可能だったのが3名である。

5 その他

(部会長)

その他委員から報告等はあるか。

(委員)

ラインワークスの活用方法に懸念がある。発災時にもスムーズに利用できるような使用頻度をあげる取組みを検討していただきたい。一部の利用者だけでなく全体を対象とした訓練も必要ではないか。

(部会長)

区としても課題と認識している。次年度に向けて準備を進めていきたい。

6 練馬区災害医療運営連絡会の日程について

(部会長)

今年度の災害医療運営連絡会については、3月下旬を予定している。該当する委員には、後日事務局から連絡する。

7 閉会

(部会長)

以上をもって、令和5年度練馬区災害医療運営連絡会第2回専門部会を終了とする。